

製品安全データシート

最新更新日 平成29年8月21日

1. 製品及び会社情報

製品名 グラウフィルター 不織布タイプ (GF-01)
会社名 株式会社 博有
住所 〒822 0031
福岡県直方市大字植木 849 1 ADOX別館
担当部門 本社
連絡先 TEL 0949 28 7428 FAX 0949 28 7429

2. 危険有害性の要約

GHS分類 GHS分類対象外
危険性 難燃性であり、通常の取り扱い上の危険はない。
有害性 長時間直接皮膚に触れると、皮膚が乾燥して肌荒れを起こすおそれがある。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 混合物

種類	化学名又は一般名	CAS番号	管報公示整理番号
	酸化鉄	1309-37-1	(1)-357
	酸化カルシウム	1305-78-8	(1)-189
	アルミナ	1344-28-1	(1)-23
	二酸化珪素	7631-86-9	(1)-548
	酸化ナトリウム	1313-59-3	(1)-495
	酸化マグネシウム	1309-48-4	(1)-465
	ポリエチレンテレフタレート	2503-59-9	(7)-1022
	ポリビニールアルコール	9002-89-5	(6)-682
	アクリル酸エステル共重合物	登録済	登録済
	無機リン難燃剤	登録済	登録済

4. 応急処置

目に入った場合 こすらずに清潔な流水で15分以上洗い流す。刺激が残る場合は医師の手当て、診断を受ける。
皮膚に付着した場合 石鹼を使用して水で良く洗う。刺激が生じた場合は医師の手当て、診断を受ける。
吸引した場合 新鮮な空気のある場所へ移動させ、鼻をかみ、うがいを行う。気分が悪い場合は医師の手当て、診断を受ける。
誤飲した場合 直ちに吐き出させ、うがいを行う。大量の場合は、医師の手当て、診断を受ける。

5. 火災時の措置

適切な消化剤 火災時には一般消火法(放水・消化剤)で消火する。周辺火災に適切な消化剤を用いる。
使ってはならない消化剤 データなし
消火を行う者の保護 消火作業の際は、適切な防護具や耐火服を着用する。

6. 漏出時の措置

環境に対する注意事項 本製品に接触した水は、アルカリ性になる場合がある。
回収 巻き取り、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 繊維シートの為に乱暴に取り扱わないようにする。
保管 雨水・直射日光をさけ、ビニール袋に密閉状態にし、ダンボール箱に入れ屋内で保管する。

8. 曝露防止及び保護装置

管理濃度	設定なし
許容濃度	(日本産業衛生学会) 時間加重平均値、吸入性粉塵、2mg/m ³ 、総粉塵10mg/m ³ (ACGIH) 時間加重平均値、吸入性粉塵、5mg/m ³ 、総粉塵10mg/m ³
設備対策	加工時に、ガスや粉塵が発生する場合、局所排気設備を取付ける ほうが望ましい。
保護具	特に必要ないが粉塵が発生する場合、防塵マスク・保護メガネ・ 手袋などの着用が望ましい。

9. 物理的及び化学的性質

形状	繊維シート
色	褐色
臭気	なし
沸点、融点	沸点なし 揮発性なし 融点 約245～260
嵩比重	約0.762kg/L
水溶性	なし

10. 安定性及び反応性

安定性	通常取り扱い状況下では安定である。
反応性	通常取り扱い状況下では危険有害反応を起こさない。
混触危険物質	強酸

11. 有害性情報

急性毒性	データなし
皮膚浸蝕性及び皮膚刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	データなし
呼吸性感作性又は皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	グループ3 分類できない ただし、シリカはIARC68では1、NTPではK、日本産業衛生 学会では勧告区分1に分離されているため、GHS分類区分1A
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性、単回曝露	データなし ただし、シリカは短期曝露でも吸入濃度が高い場合は呼吸器に影響 を及ぼすおそれがあるため GHS分類区分1
特定標的臓器毒性、反復曝露	データなし ただし、シリカは呼吸器系、腎臓に影響を及ぼす恐れがあるため GHS分類区分1
吸引性呼吸器有毒性	データなし ただし、粉塵の吸入により、アレルギー・喘息・呼吸困難を起こす おそれがある。

12. 環境影響情報

生態毒性	データなし
残留性・分解性	データなし
生態蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし
オゾン層有害性	データなし

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物
- : 本製品を廃棄する場合には、量の多少にかかわらず「廃棄物の処理および清掃に関する法律(廃棄物処理法)」および各自治体の条例に従って処理すること。
 - : 本製品には以下の特徴があるため、廃棄及び運搬や処理の委託にあたっては、これら特徴を理解の上、適切に処理する。
 - : 使用済みの本製品には、使用条件によって可燃性物質・毒性物質危険物質などが吸着・付着している場合がある。また水を再吸着した場合や温度によっては、吸着されていた物質が放出されることがある。廃棄にあたっては、吸着・付着している物質を特定すること。

14. 輸送上の注意

- | | |
|--------|--|
| 国際規約 | 該当しない |
| 国内規約 | 該当しない |
| 安全対策 | 包装資材の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。
荷崩れの防止を行い直射日光や雨水を避けること。 |
| 海洋汚染物質 | 該当しない |

15. 適用法令

- | | |
|---------------|---------------------------------|
| 毒物及び劇物取締法 | 該当しない |
| 労働安全衛生法 | 施行令第18条の2 名称等を通知すべき危険物及び有害物 313 |
| 化学物質排出把握管理促進法 | 該当しない |
| 化学物質審査規制法 | 該当しない |
| 消防法 | 該当しない |
| 船舶安全法(危規則) | 該当しない |
| 航空法 | 該当しない |

使用済みの本製品は、使用時に接触した物質を吸着・付着している場合があり、その物質が法令の適用を受ける場合があるので注意が必要である。

16. その他の情報

- その他
- : 記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保障するものではありません。なお、新しい知見により訂正されることがあります。
 - : 危険、有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意してください。
 - : SDSの注意事項は、通常の使用条件において適用されるものです。特殊な取扱いをされる場合は、ご使用者の責任において安全対策を実施してください。